

泣

四年

画数 8
筆順 シ 泣 泣
オン キユウ
フ なリク

成り立ち



「粒」の意味の「立」と、水の意味の「シ」とを組み合わせて作った字です。

「水の粒」という意味の字で、「なみだ」のことを表した字です。「なみだを流して「なく」という意味に使われます。

使い方

- ▽父親に死に別れ、今また母親をも失った子供たちは、母親の体にとりすがって号泣しました。
- ▽お父さんとお母さんは、手を取り合って泣いていました。
- ▽ぼくは、すぐ泣くので泣き虫小僧というあだ名がついています。
- ▽赤ん坊が泣くので、なかなか眠れませんでした。

熟語例

- ▽号泣（大声をあげて泣くこと。）
- ▽感泣（感動して泣くこと。）

救

四年

画数 11
筆順 才 求 求 救
オン キユウ
ク すくリウ

成り立ち



手におきをもつてきを「うつ」意味を表した「女」と、「求める」意味を表した「求」とを組み合わせて作った字です。

ときにおそわれて、たすけを求めたので、求めにおうじてそのきをうって「すくう」ことを表した字です。

- 「すくう（たすける）」という意味の字です。
- 「女」のついた字には「教（2年115）」「牧（4年621）」「散（4年526）」「敗（4年598）」などがあります。
- 「求」のついた字には「球（3年280）」があります。

使い方

- ▽川でおぼれかけた子供を救って、表彰されました。
- ▽交通事故を目撃したので、すぐ救急車をよびました。
- ▽救急車が、早く来てくれたので、けが人は命をとりもめたようです。

熟語例

- ▽救急（急な災難を救うこと。とくに、急病や、けがの手当てをすること。「救急箱」といえば、ふいのけがなどの手当てをする道具を入れてある箱のことです。）
- ▽救助（命があぶない人を救うこと。「火事の現場から、人命を救助した」などというふうに、つかいます。）
- ▽救出（救い出すこと。命があぶない状態から救い出すこと。「地震で家の下じきになった人を、あぶないところで救出した」などというふうに、つかいます。）
- ▽救援（救い援護すること。困難を救うこと。「戦争で家を失った、ベトナムの人に対する救援活動を行って」などというふうに、つかいます。）